

平成26年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	130,805,485円 ※平成24・25年度 127,172,000円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的室、研修室(4)、音楽室、和室、クラフト室		

●利用状況

	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	11,284 286	18,254 591	10,153 281	17,258 545	10,183 270
開所日数(単位:日)	136	162	139	157	144
団体利用可能日数(単位:日) ※1	132	162	136	157	140
団体利用実績日数(単位:日)	128	161	131	156	124
施設稼働状況(単位:%) ※2	97.0	99.4	96.3	99.4	88.6

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則を遵守している。 ②指定管理者仕様書に基づき、人員配置、管理を行っている。 ③ホームページ、パンフレット、チラシ等、多様な広報活動を行っている。 ④迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業自主事業	○受け入れ事業を実施 ○下記主催事業を実施 ①家族のつどい ②子どものつどい ③市民のつどい	○受け入れ事業 ※カッコ内は対前年度比 ・275団体8,858人を受け入れ(5団体727人増) ○主催事業 ※カッコ内は対前年度比 ①家族のつどい…4事業7回に160家族516人が参加(17家族30人減) ②子どものつどい…2事業に100人が参加(3人減) ③市民のつどい…1事業に1,779人が参加(439人増)

指定事業 自主事業	○研修・啓発事業を実施	○研修・啓発事業 ・ボランティアスタッフ研修会…1事業に31人が参加 ・事業協力、出前講座、各種研修の受け入れ ・「自然の家だより」「季節の散策マップ」の発行 ・岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャー ネット」への投稿 ・新規の自主企画事業として下記の事業を実施 ・「 自然体験ミニイベント 」(11月～2月 5回 新規)
	○研究・開発事業を実施	○研究・開発事業 ・ 安全マニュアル6項目の改善 「主催事業における防災体制」「野外炊事」 「クマ、イノシシ対策」「ゴムボートによる川下り」等 ・ 新規活動プログラムの開発 ・ 幼児向けの室内レクリエーション ・ 公園内散策コース ・各種職員研修の実施 ・周辺の動植物調査及びデータ収集 ・「自己課題」への取組み
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②ハチの巣調査、駆除 ③空気環境測定 ④飲料貯水槽清掃点検	①【日常】開所日は毎日実施 【定期】12月・3月に実施 ②9月に実施済 ③11月・1月・3月に実施 ④2月に実施 ※ほか仕様に基づき適正に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	○迅速な修繕の実施例 ・ログハウスの網戸(木製の枠)が破損していても く閉まらない ⇒新しい網戸を製作して設置 ○指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実 施例 ・ 散策道のぬかるみの整備(コンクリート板の設 置)やキャンプ場の階段の補修 ・ 炊事場のテーブル板の張り替え ・ ウォークラリー・オリエンテーリングコース(公園 内全コース)の看板の製作、設置
危機管理・ 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護に関する研修会を 年3回 実施してい る。 ② 安全マニュアル6項目を改善 し、周知徹底を図って いる。 ・ クマ、イノシシ対策 として、次の対応を行っている。 ・ 岐阜県クママップ (県ホームページ)等を活用し た情報収集 ・利用者への クマ鈴の貸与 ・キャンプ場周辺に 携帯ラジオを設置 (キャンプ場 で宿泊利用がある場合) ・ 職員による散策路の巡回 (利用者が山中に入る 場合)等 ③岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家 条例施行規則等、関係法令を遵守している。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○受け入れ事業 ・「利用者アンケート」…すべての利用団体の指導者を対象</p> <p>・「野外学習アンケート」…対象は利用した小学校(抽出) ・質問内容:自然の家の3つの願いの達成度など</p> <p>・聞き取りによる調査…利用者に対し、要望等の聞き取りを実施</p> <p>○主催事業 ・「参加者アンケート」…すべての主催事業で実施</p> <p>・聞き取りによる調査…事業の実施中、各活動に対応している職員や施設ボランティアが直接、要望等の聞き取りを実施</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○受け入れ事業 ・「利用者アンケート」 ①回収枚数 119枚 ②各項目の満足度・主な意見 「利用全般」(97.4%):大変満足67.2% 満足30.2% 普通2.6% 不満0.0% 大変不満0.0% 「施設・設備」(95.0%):大変満足65.3% 満足29.7% 普通5.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「職員の対応」(98.3%):大変満足87.3% 満足11.0% 普通1.7% 不満0.0% 大変不満0.0% 【主な意見】 ・オリエンテーリングコースは、子どもたちには適度な負荷がかかり、ちょうど良い設定である。</p> <p>・聞き取りによる調査 ・今回は、クマ出没情報に伴う活動プログラムの変更に関する質問、要望が目立っている。</p> <p>○主催事業 ・「参加者アンケート」 【家族対象事業】 ○ファミリーDAY デイキャンプ編(1日 2回)10/26 11/3 ①回収枚数 42枚 ②事業の満足度・主な意見 【満足度】(100.0%):大変満足66.7% 満足33.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【主な意見】 ・職員やボランティアの子どもに対する接し方が積極的で感心した。</p> <p>○ファミリーDAY スターウォッチング編(1日) 1/17 ①回収枚数 22枚 ②事業の満足度・主な意見 【満足度】(100.0%):大変満足90.9% 満足9.1% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【主な意見】 ・家族で揃って星を観察することができ、参加して良かった。</p> <p>○ファミリーステイ I (1泊2日 2回) 11/29・30 12/6・7 ①回収枚数 53枚 ②事業の満足度・主な意見 【満足度】(96.2%):大変満足69.8% 満足26.4% 普通3.8% 不満0.0% 大変不満0.0% 【主な意見】 ・スタッフ、ボランティアの対応が、気さくで親切なことがうれしかった。</p> <p>○ファミリーステイ II (1泊2日 2回) 1/31・2/1 2/7・8 ①回収枚数 35枚 ②事業の満足度・主な意見 【満足度】(97.2%):大変満足62.9% 満足34.3% 普通2.8% 不満0.0% 大変不満0.0% 【主な意見】 ・毎回アレルギー対応をしてもらえて有難い。唯一安心して宿泊できる施設だ。</p>

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【子ども対象事業】</p> <p>○自然は友だちキャンプ 森遊び隊(1泊2日) 10/4・5</p> <p>①回収枚数 48枚</p> <p>②事業の満足度・主な意見</p> <p>【満足度】(100.0%):とても楽しかった85.4% 楽しかった14.6% 普通0.0% 楽しなかった0.0% 全く楽しなかった0.0%</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然散策で、班で話し合って進むルートを決めることができたのでよかった。 <p>○自然は友だちキャンプ 冬遊び隊(1泊2日) 2/21・22</p> <p>①回収枚数 52枚</p> <p>②事業の満足度・主な意見</p> <p>【満足度】(100.0%):とても楽しかった80.8% 楽しかった19.2% 普通0.0% 楽しなかった0.0% 全く楽しなかった0.0%</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にテントづくりを頑張った。また参加したい。 <p>・聞き取りによる調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムやその具体的な内容についての質問、要望が多数ある。
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>○受け入れ事業</p> <p>意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ会等で、施設としての考え方を説明している。</p> <p>利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。</p> <p>【主な意見と対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外学習本番での子どもの宿泊や活動に不安がある。 ⇒事前学習を勧め、下記の内容を伝えている。 <ul style="list-style-type: none"> ・本番と同様の活動が事前にできること ・宿泊室の暖房を、部屋ごとに微調整できるようにしてほしい。 ⇒利用団体に対し、「事前打合せ会」やオリエンテーション等を通じて、下記の内容を伝えている。 <ul style="list-style-type: none"> ・要望に応じて、フロアごとのON/OFFで対応していること ・食堂食が、もう少し温かいと良い。 ⇒食事を温かいうちに召し上がっていただくために、「事前打合せ会」やオリエンテーション等を通じて、下記の内容を伝えている。 <ul style="list-style-type: none"> ・食事の開始時間を考慮して、ゆとりのある活動計画を立案していただくこと <p>○主催事業</p> <p>意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、必要に応じて各事業の「終わりの会(全体会)」で、施設としての考え方を説明している。</p> <p>事業全般に関わる内容については、係会、所内経営会議、職員会議を通して検討を重ね、次回事業のよりよい運営に活かしている。</p> <p>【主な意見と対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱衣場のドライヤーを増やしてほしい。 ⇒手洗い場に増設し、対応している。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等 利用が確保 されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①利用調整委員会を開催し、利用調整を行っているか。 ②主催事業において、幅広い市民への参加の機会と周知を図っているか。	SS	SS	SS
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	障がい者を含め幅広い層の利用を促すため、ソフト面での配慮を推進しているか。	S	S	S
		(3)情報公開、広報の方策	市内小中学校、市内少年団体、当年度利用諸団体に対する次年度への呼びかけ及びホームページ等も含めた紹介・啓発をしているか。	S	S	S
		(4)個人情報保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	S	A	A
		区分評価				
効果性	II 事業計画書 の内容が、 対象施設 の効用(設置 目的)を最 大限発揮す るものである こと	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	「岐阜市少年自然の家運営方針」のとおり「ほほえみ、なかま、自然」を大切に施設運営をしているか。	S	S	S
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	主催事業等の活動プログラムの改善を図っているか。	SS	SS	SS
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・団体に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	利用団体の活動に対し、可能な限り職員を配置し、適切な指導・援助を行っているか。	SS	SS	SS
		(5)利用促進、利用者増の方策	利用者の少ない冬季を含め、事業の充実等により利用の促進に努めているか。	S	S	S
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	利用団体の活動に合わせ、必要に応じ宿直、夜勤、通常勤務、週休等を割り振り対応しているか。	S	S	S
		区分評価				

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	III 事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	利用者の安全を第一に考え必要経費に優先順位をつけ、管理的経費の削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	収支予算書との妥当性はどうか。	A	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減に努めているか。	SS	S	S
		(4)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(5)管理経費削減の具体的方策	事業・活動の目的の範囲内で引き続き経費の削減に努めているか。例えば啓発紙等印刷物は可能な限り、電子メール等電子媒体を取り入れているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	施設の性質上、不規則勤務にならざるを得ないが、宿直勤務は可能な限り必要最低限とし、無理のない勤務体制としているか。	S	S	S
	区分評価					A
安定性 安全性	IV 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	職員は行政計画、教育指針等を常に把握して野外活動に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する事業、業務などの実績	類似施設等の管理実績を参考にしているか。	S	S	S
		(3)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	S	S	S
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	小・中・高・養護各教諭免許、社会教育・社会福祉各主事資格、防火管理・危険物取扱各免許など専門知識や経験が活かされているか。	S	S	S
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができていますか。	S	S	S
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	経理・文書・施設管理・里山の自然等業務についての基本知識の他、個人情報保護・安全衛生・救命救急・接遇・人権等の研修が行われているか。	S	S	S
		(7)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)及び対応能力(資金力、損害賠償能力など)	野外活動エリアの安全点検・館内外の巡回・消毒清掃・衛生指導・避難訓練等を実施しているか。非常時の対応が確認されているか。	S	S	S
		(8)学校及び教育委員会との連携	学校や教育委員会との連携がなされているか。	SS	SS	SS
区分評価					S	
貢献性	V 事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取り組み姿勢など)	市の方針に基づいた計画で、地域の振興・活性化に貢献する計画となっているか。	A	A	A
		(2)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人その他の団体との連携に務めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	S	S	S
		(4)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	S	S	S
		(5)その他地元への貢献に関すること	地元で実施される社会活動等への、積極的な参加に務めているか。	SS	SS	SS
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

(I-(2))

- ・新たに、車イスでも可能な散策コースや幼児向けの室内レクリエーションを活動メニューに取り入れた。
- ・団体毎に活動メニューを考案するなど、様々な要望に対応している。
《要望と対応例》
 - ・「ウォークラリーをさせたいが、体温調節が困難で、野外を歩くことができない。」
⇒館内でできるウォークラリーを考案、提供
 - ・「全体ではウォークラリーをするが、病気やケガで歩けない人がいる。」
⇒歩けない人には、クラフト等の別メニューで指導・支援
 - ・「幼児ではあるが、小学校向けのクラフトをしたい。」
⇒幼児では難しい部分を職員が作成しておき、材料を提供
 - ・「高齢者で特に野草や樹木について興味がある。」
⇒野草や樹木の資料を準備し、職員が案内をしながら散策

(I-(4))

- ・「個人情報保護宣言」、「公表事項等に関するご案内」をホームページに掲載するとともに、受付窓口に掲示し、利用者の信頼感、安心感を高めた。

(II-(1))

- ・受け入れ事業では、今期から自然の家の3つの願いである「ほほえみ」「なかま」「自然」の達成度を把握できるよう、「野外学習アンケート」(小学校を対象とした事後アンケート)を改善した。
⇒「ほほえみ」89.2%、「なかま」88.2%、「自然」90.2%

(III-(3))

- ・比較的大規模な環境整備も自前で実施した。(下記に例)
《環境整備の例》
 - ・散策道のぬかるみの整備(コンクリート板の設置)やキャンプ場の階段の補修
 - ・炊事場のテーブル板の張り替えや野外で使用するイスの製作、設置
 - ・ウォークラリー・オリエンテーリングコース(公園内全コース)の看板の製作、設置
- ・3月に実施したイベント「ファミリーフェア」では、記念品(およそ1,000コ 占いのできる木製のコマ)を自前で製作し、参加者から大変好評を得た。

(IV-(3))

- ・教育文化振興事業団は、昭和63年の設立以来、赤字決算は一度もない。
- ・設立以来、継続して、岐阜市少年自然の家の管理受託者・指定管理者として業務を行っている。
- ・公益財団法人として、「公益目的事業を行うのに必要な経理的基礎と技術的能力を有している」との公益認定を受けており、公益事業に精通している。
《物的能力》
 - ・寝具、食器、机等、館内で日常的に使用する備品については、最大定員(宿泊棟324人)に常に対応できるよう、予備も含め、計画的に購入(または交換、修繕)している。
 - ・物的能力に関わる「利用者アンケート」の項目「施設・設備」で大変高い評価(満足度95.0%)を得た。
《人的能力》
 - ・経験豊富な職員を多数配置(15名中9名が5年以上の実務経験者)している。結果、「利用者アンケート」では、「どの活動も準備がしっかりできている」、「計画変更等、急な依頼にも対応が迅速」など、人的能力を高く評価する意見・感想が多数見られた。
《専門的能力》
 - ・専門的資格を有した職員を配置している他、積極的に研修を実施し、その能力の向上を図っている。結果、「利用者アンケート」では、専門的能力に関わる項目「職員の対応」で大変高い評価(満足度98.3%)を得ることができ、「子どもたちを惹きつけ、説明がとてもわかりやすい」、「指導者へのアドバイスが的確」などの意見・感想が多数見られた。

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>(IV-(7))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種安全マニュアルの整備とそれに基づく安全対策の強化を施設目標の一つに掲げ、今期は特に「主催事業における防災体制」、「クマ、イノシシ対策」、「野外炊事の対応」等、6項目について、マニュアルの内容や具体的な対応の改善を行った。 《資金力》 <ul style="list-style-type: none"> ・教育文化振興事業団では、経営の安定化を図るため、「経営安定基金」を造成し、緊急時の資金需要に対応できる体制を築いている。 《損害賠償能力》 <ul style="list-style-type: none"> ・施設瑕疵等に対応するため、市民総合賠償補償保険の被保険者となっている。また、役員、管理職員等への損害賠償責任に対応するため、役員賠償責任保険に加入している。 《リスク防止・非常時対応策》 <ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜市暴力団排除条例」に則り、「不当要求防止責任者」を設置し、受付窓口「不当要求防止責任者選任事業所」の表示を行った。 ・想定される大規模な自然災害に対応するための防災研修を実施した。 <p>(V-(5))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家のある三輪地区では主に下記の取組みを行った。 《三輪地区での主な取組み》 <ul style="list-style-type: none"> ・11月 「三輪北文化祭」への事業協力 ・2月 メガソーラーを活用した環境学習コースの設置 ・3月 「石田川ベストリバー推進グループ会議」への参加(※) ・3月 神社の清掃活動への参加 ・市内公共施設(団体)への出前講座、事業協力を数多く実施した。(出前講座:計8回 事業協力:計9回) ・川下りや川遊びの実施時には、担当職員が自主的に川原の清掃活動を行っている。 <p>※その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>【所管課の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、安全対策や子どもの実態等の今日的な課題を踏まえた工夫、改善を加えながら、施設運営を充実させていくことを期待する。 <p>(IV-(7))</p> <p>⇒各種安全マニュアルの整備とそれに基づく安全対策の強化を施設目標の一つに掲げ、今期は特に「主催事業における防災体制」、「クマ、イノシシ対策」、「野外炊事の対応」等、6項目について、マニュアルの内容や具体的な対応の改善を行った。</p> <p>(I-(2)) (II-(2))</p> <p>⇒受け入れ事業では、既存の活動メニューだけでなく、子どもの実態等を踏まえて、団体毎の要望に応じた活動メニューを提供した。</p> <p>⇒主催事業では、子どもの実態等を踏まえ、すべての事業で活動プログラムの改善を図り、新規参加者、リピーターのいずれからも大変高い満足度を得ることができた。</p> <p>(II-(3))</p> <p>⇒「野外学習アンケート」(小学校を対象とした事後アンケート)を実施し、子どもの実態を踏まえた指導・支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修について、増やしていけるよう少年団体や子ども会等に働きかける。 <p>(II-(5))</p> <p>⇒体験し、楽しみながら研修できる機会として、新規事業「自然体験活動実技研修会」(仮称)を計画している。</p> <p>【指定管理者評価委員会の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各評価項目の具体的な業務要求水準に従い業務が履行されている。 ・実際の施設を見て、スタッフの対応が非常に良かった。 ・すべての事業に養護教諭の資格を持つ職員を配置すべく、ローテーション等、工夫を凝らしており、よく対応できていると思う。 ・食事について、満足という感想があまり見られないので、改善されると良いのではないかと思う。 <p>(II-(3))</p> <p>⇒食事の満足度の向上を図るため、目標数値を設定し(満足度:85%以上)、次年度4月から新規メニューを提供できるよう、準備を行った。</p>

今後の取組み	(II-(1))	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の家の3つの願いである「ほほえみ、なかま、自然」の具現化を図るため、受け入れ事業、主催事業において、それぞれ目標数値を設定し、その達成に努める。 ・受け入れ事業:3つの願いの達成度90%以上 ・主催事業:3つの願いの達成度92%以上
	(II-(3))	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ事業では、「利用者アンケート」の各項目に目標数値を設定し(下記に例)、その達成に努める。 ・職員対応の満足度:97%以上 ・食事の満足度:85%以上 ・主催事業では、「参加者アンケート」から事業満足度を適切に把握し、すべての事業において、目標数値の達成に努める。 ・事業満足度:98%以上
	(II-(5))	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者や大学生などを対象とした新規事業「自然体験活動実技研修会」(仮称)を実施し、当施設のノウハウの普及に努めるとともに、冬季の利用者拡大につなげる。
	(IV-(7))	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種安全マニュアルの見直し、改善を図るとともに、宿泊施設を対象とした「防火対象物適合表示制度」(適マーク制度)による「適マーク(金)」の交付が認められるよう、施設の安全管理に努める。
	(IV-(8)) (V-(5))	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市の英語教育に寄与するため、岐阜市教育委員会と教育文化振興事業団が共催で実施する「イングリッシュ・キャンプinGIFU」(8月 5泊6日)において、事業効果の高い運営を行う。 ・岐阜市の環境教育及び地元の活性化につながるよう、メガソーラーを効果的に活用したプログラムの提供に努める。

●所管課の意見

- 「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取組に対する自己評価」について
 - ・「I-(1)・(3)、II-(1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)、III-(5)・(6)、IV-(4)・(5)・(6)・(8)、V-(2)・(3)・(4)」について、前回と同様「指定管理者の取組に対する自己評価」のとおりとする。
 - ・I-(2)、II-(1)、IV-(3)・(7)、V-(5)について、指定管理者の評価とおり、前回より評価を上げる。
 - ・I-(4)について、「個人情報保護宣言」を定めたことなどの人的な対策は要求通りのため「A」評価とする。
 - ・III-(3)について、コスト縮減が際立って大きいとは判断できないため「S」評価とする。
 - ・その他の評価項目については、「岐阜市少年自然の家 指定管理者 仕様書」の内容通り業務が履行されている。
- 利用者の増減について
 - ・多種多様な方策により利用促進を図り、今期は前年度比**5団体1,131人増**の結果となっている。
- 今後の方針について
 - ・今後も、安全対策や子どもの実態等の今日的な課題をふまえた工夫、改善を加えながら、施設運営を充実させていくことを期待する。(特に急な天候の変化にも対応できるよう具体的な方策を検討する)
 - ・指導者研修について、増やしていけるよう少年団体や子ども会等に働きかける。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・各評価項目の具体的な業務要求水準に従い、業務が履行されている。
- ・利用者アンケートを積極的に取っており、評価できる。
- ・食事の満足度の向上を図るため、目標値(満足度85%以上)を設定し、改善を図っており、次期モニタリング時の結果に期待している。